

一級自動車工学科・自動車整備科 2024年度					授業計画		
時 期	2年B巡	単元	実習	教科名	マルチリンク脱着		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	シャシ2級		発行日	2024年5月1日	
総 時限	18時間		T/S3級シャシ		教科担 当	坂井	● ■
1. 実務経験のある教員による授業科目					該当		
自動車販売会社で整備士としてシャシについて分解点検整備、アライメント測定の実務経験のある教員により、各種アライメントについての説明、測定方法、またサスペンションの構造、特徴、分解組立について指導する。							
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)							
1)思考力につける為、各班で安全、効率を考えた作業手順をESMを見ながら自ら考え実践する。 2)判断力、責任感をつける為、班員で整備手順を考え、全員で完成検査を行いお客様に渡せる品質にこだわる。 3)表現力につける為、各班で考えた作業手順、工夫したポイントを発表する。 4)アライメントの測定方法およびCCKゲージの取り扱い方法を習得する。 5)マルチリンク・サスペンション(Rrサスペンションメンバ含む)の脱着を通して構造を理解する。							
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)							
1)アライメント測定の基本を身に付け、精度の良い測定ができる。 2)安全、効率を考えた部品の脱着ができる。 3)自分で考えた手順を分かりやすく手順書にまとめる事ができる。 4)「お客様に渡せる品質」を実践できる。 5)サイドスリップについて理解を深め、測定手順を理解し良否判定ができる							
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)							
・実習履修試験での得点評価		※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。					
合格基準：整備科60点以上で合格、工学科70点以上で合格							
評価の種類：『優』・『良』・『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価							
評価基準：80点以上…『優』、整備科60点以上、工学科は70点以上…『良』 整備科60点未満、工学科70点未満…『未』（未履修） 再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』							
<出題試験項目>							
① フロントサスペンションのアライメント測定：30点 ② 中間検査、完成検査：30点 ③ アライメントの基礎・測定に関する問題、実習車両（サスペンション型式）に関する問題：40点							
5. 準備学習							
2級シャシP119～128							
※ ■⇒日産資格保持者 ※ ●⇒実務経験がある教員							

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度 授業計画

一級自動車工学科・自動車整備科		2024年度		授業計画			
時 期	B巡	単元	実習	教科名	マルチリンク脱着		
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)							
番号	作業名		遵守事項		災害事例		
1	ボードオンでのリフト作業		リフト操作時の安全確認と声出しの徹底		<ul style="list-style-type: none"> 他の班員が作業中に昇降し、車両各部に挟まれ受傷する。 車両の下敷きになる。 		
2	部品脱着作業		作業姿勢に注意する。		<ul style="list-style-type: none"> バランスを崩し転倒する。 		
3	下回り作業		下回りのバリ、凸凹に注意する。（手袋着用マフラー・ナット等取り外し時のメガネ着用		<ul style="list-style-type: none"> 頭部をバリ、エッジにぶつけ受傷する。 眼に鉄粉などの異物が入る。 		
4	共同作業		共同作業時の合図確認の徹底		<ul style="list-style-type: none"> 連携不足による部品落下、挟まれ、打撲等の受傷 		
5	プロペラ・シャフト		脱着時はコンパニオンフランジ付近を支える		<ul style="list-style-type: none"> コンパニオンフランジ部の固定ボルトを外しても引っ掛けがあるので、すぐには落下しない。また、重さを感じられない。センターベアリング付近を支えていると不意に外れた時、支えきれず落下し、作業者や近くの班員に当たり受傷する。 		
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)							
実習場			座学教室				